

2023年2月7日

関係各位

社会福祉法人 中心会  
理事長 浦野 正男  
相模原南児童ホーム  
所長 曾我 幸央

相模原南児童ホームの  
新型コロナウイルス感染事例について  
(34の③)

既報(34、34の②)の続報をお知らせします。

4日(土)に児童Cが抗原定性検査で陽性が確認されたことに伴って、児童11名、職員34名、実習生3名、職場体験者(本年4月職員採用予定者)1名、計49名についてPCR検査を行ない、その結果、6日(月)までに49名全員の陰性が確認されました。

しかし、検体(唾液)の採取が困難なためにPCR検査を受けることができない児童(乳児)15名のうちの1名(以下、「児童D」といいます。)が6日(月)に発熱、あらためて抗原定性検査を行なったところ、陽性が確認されました。

この事態を受けて、相模原南児童ホームは所轄の保健所に支援を求め、児童Dと接触した事実がある児童15名、職員9名、計24名の検体(鼻腔ぬぐい液)を同6日(月)に採取、PCR検査を行なったところ、児童(乳児)1名(以下、「児童E」といいます。)の陽性が確認されました。

また、児童C、D、Eと接触があった実習生Fが、これまでに受けた抗原定性検査及びPCR検査では陰性が確認されていたものの、本7日(火)に発熱、あらためて抗原定性検査を行なったところ、陽性が確認されました。

さらに、児童(乳児)1名、職員9名、計10名が児童Eと接触した事実があったため、この10名に抗原定性検査を行ない、全10名の陰性を確認しましたが、検体(唾液)採取が困難な児童(乳児)1名を除いて、職員9名には続けてPCR検査を行ないます。この結果が判明しましたら、あらためてお知らせします。

皆様には度々ご心配をおかけして申し訳なく存じますが、今後も感染防止に最善を尽くしますので、ご理解、ご協力をお願いします。